

## 日本神経精神薬理学会第 38 回理事会（2006 年度）議事録

日時：2006 年 9 月 6 日（水）13:00～15:00

場所：名古屋国際会議場 2 号館「Meeting Room 13」（名古屋市）

出席者：野村靖幸理事長、尾崎紀雄会長、岩崎庸男、大熊誠太郎、加藤進昌、神庭重信、  
亀井千晃、佐藤光源、鈴木勉、鍋島俊隆、西川徹、野村総一郎、樋口輝彦、  
山本経之、山脇成人、油井邦雄（以上、理事）、佐藤公道監事、吉岡充弘次期会長、  
泉剛次期年会事務局長（オブザーバー）

野村靖幸理事長より議事の開始が宣言され、また本年会開催に対する尽力に対して尾崎会長に謝辞が述べられた。

### 議事：

#### ・報告事項

#### 1. 第 36 回年会準備状況報告

尾崎会長より本年会開催に関して概要が報告された。

第 36 回年会（第 28 日本生物学的精神医学会、第 49 日本神経化学会との合同開催）  
について、初めての 3 学会合同年会在恙無く開催されていることが、報告された。

#### 2. 第 37 回年会準備状況報告

吉岡次期会長より、第 29 回日本生物学的精神医学会との合同により、以下の通り開催される予定であることが報告された。

会期：2007 年 7 月 11 日（水）～13 日（金）

会場：札幌コンベンションセンター（北海道）

プログラムの決定、ホームページの開設などは本年会終了後に行われると報告された。

#### 2. 各種委員会報告

##### a. 財務委員会（大熊委員長）

大熊委員長より、2005 年度決算、貸借対照表について説明され、また佐藤監事より監査報告が発表され、承認された。

2006 年度収支の中間報告が提示され、適正に執行されていることが説明された。  
また、2007 年度予算（案）が提案され、承認された。

##### b. 総務委員会（樋口委員長）

樋口委員長より、以下の通り会員報告が説明された。

会員数：1,023 名（2006 年 8 月 31 日現在）

内訳 名誉会員 10 名

評議員 187 名

正会員 798 名

賛助会員 28 社

新入会 31 名

退会 本人申出 52 名

逝去 2 名

物故者 鷓飼 良 2006/1/17 評議員

渋谷 健 2006/08/13 名誉会員

また、賛助会員のうち、ユーシービージャパン(株)と大鵬薬品工業(株)より退会の申出があり、受理された。

その他の総務委員会活動については、審議事項とされた(後述)。

c. 編集委員会(野村(総)委員長)

野村(総)委員長より、機関誌投稿・刊行状況、企画などについて報告された。

・雑誌刊行状況について報告があった。

25巻: 総説10編、ミニレビュー17編、原著7編を掲載した

25巻: 総説14編、ミニレビュー5編、原著4編、短報1編を掲載し、以後も順調に掲載予定。年会時のシンポジウムも掲載する。

・海外研究者も査読者に加える。

・倫理指針の掲載について

・委員長交代について

・シンポジウム(薬物・ニコチンの精神薬理シンポジウム)記録を掲載予定である。

d. 国際学術委員会(山脇委員長)

山脇委員長より以下の通り報告された。

1) CIMPの2010年大会については香港で開催することが決定された。

2) CIMP・EC大会において、事務局長・事務局の変更があった。

3) アジアにおける国際協力を推進すべきことが提議された。

・タイのバンコクで開催されるRegional Meetingなどで話し合われる予定。

・アジア地域をまとめる委員会の設置などについて、検討する。

e. 学術賞選考委員会(鈴木委員長)

本年度の学術賞受賞者に次の2名が決定したことが報告された。

・久岡 一恵 (独立行政法人呉医療センター)

・中道 範隆 (金沢大学大学院自然科学研究科)

また、「学術賞規定」の改訂案が提示され、承認された。

f. 長期計画委員会(野村理事長)

小川委員長欠席のため、野村理事長より報告された。本理事会前に理事に対し行ったアンケート結果が示され、その中で日本臨床精神神経学会などとの連携していくこと、アジアの学会と協力していくことの重要性が指摘された。

g. 広報委員会(加藤委員長)

加藤委員長より本学会ホームページについて、英語ページの作成などが報告された。

h. 研究倫理委員会(亀井委員長)

亀井委員長より、「研究倫理委員会規定」が提示され、いくつかの修正が指摘され検討の結果、修正を加えた規定(案)を評議員会に付議することになった。また、委員会名称を「倫理委員会」に変更することが提議され、承認された。

i. 研究推進委員会(西川委員長)

西川委員長より、委員会構成について報告され承認された。また、厚生労働科学研究費の「こころの健康科学」についての諮問があり、回答を提出したこと、脳神経に関する研究費獲得のための協力体制について日本神経科学学会から提案があったことが報告された。

・審議事項

1．次々期会長の選出

協議の結果、本学会第 38 回会長（2008 年度）として山脇成人理事（広島大学）が推挙され、全会一致で承認された。

2．新評議員の選出

野村理事長より、本年度評議員候補者として 5 名が推薦されていることが説明され、協議の結果、全員を承認することとなり、評議員会・総会へ付議することとした。

3．新入会希望者について

樋口総務委員長より、前回年会終了時よりの入会希望者の一覧が示され、問題なく承認されていることが報告された。評議員会・総会へ報告することにした。

4．名誉会員推戴について

樋口総務委員長より、名誉会員の推戴についての細則が決まっていなかったことから、細則案が提示された。検討の結果、この細則を承認し、次年度よりこれに従って相応しい会員を推戴することとなった。

5．その他

以上